

令和4年度 幼児教育にける人材確保・ キャリアアップ支援事業

(幼稚園教諭免許法認定講習等の在り方に関する調査研究)

第1回 評価検討委員会

岐阜女子大学

令和4年度 幼児教育における人材・キャリアアップ支援事業 第1回評価検討委員会次第

次 第

1. 開会
2. 岐阜女子大学・松川禮子学長挨拶
3. 評価委員紹介
4. 実施事務局員紹介
5. 議案評価検討
 - (1) 令和4年度幼児教育における人材確保・キャリアアップ支援事業目的・概要
 - (2) 「幼児教育コーディネータ養成講座」の実施状況
 - (3) 「幼児教育コーディネータのための資質・能力に関する調査」の実施状況
 - (4) 今後の事業運営について
 - (5) その他
6. 閉会

評価委員

- ・平田美紀 氏（沖縄女子短期大学学長）
- ・當山 健 氏（与那原町教育委員会教育長）
- ・中村有希 氏（岐阜県教育員会教職員課課長）
- ・岡本智子 氏（岐阜市教育委員会幼児教育課長）
- ・渡辺寿之 氏（学校法人渡辺学園園長）

実施事務局

- ・ 松川禮子 (学長)
- ・ 横山隆光 (教授・文化創造学部長)
- ・ 久世 均 (教授・遠隔・通信教育部長)
- ・ 倉坪弘一 (事務局次長)
- ・ 大木佐智子 (事務職員・事業事務担当)
- ・ 齋藤陽子 (准教授・事業主務者)

実施目的・概要

<実施事業>

新たな教師の学びの姿を実現するための質の高い効果的な免許法認定講習等の開発・実施

<実施期間>

令和4年5月20日～令和5年3月31日

<事業内容>

- ・ 免許法認定講習等の開発・実施
- ・ 新たな教師の学び（オンライン等）の開発

令和4年度 幼児教育における人材・キャリアアップ支援事業 実施目的・概要

実施目的・概要

<事業内容>

- ・ 免許法認定講習等の開発・実施
- ・ 新たな教師の学び（オンライン等）の開発

実務年数12年以上の幼稚園教諭の新たなキャリアとして目指す「幼児教育コーディネータ」を養成し、2種免許状保有者の専門性の向上を図り、上進を推進する。

- ① 自律的なオンライン講座のデザインと教えないで学べる学修環境の設計
- ② キャリアステージに対応した幼稚園教諭に求められる資質能力の構造化
- ③ 幼児教育の新たなキャリアである幼児教育コーディネータの養成カリキュラム構造化と内容の精選
- ④ 「幼児教育コーディネータ養成講座」の実施（幼稚園教諭2種免許状から1種免許状に上進する認定講座の開設）

令和4年度 幼児教育における人材・キャリアアップ支援事業

実施概要

実施概要

- ① 自律的なオンライン講座のデザインと教えないで学べる学修環境の設計
- ④ 「幼児教育コーディネータ養成講座」の実施
(幼稚園教諭2種免許状から1種免許状に上進する認定講座の開設)

幼稚園教諭2種免許状から1種免許状への上進のための、
文部科学省認定公開講座を開講

<開設科目>

Nº	教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分等	科目名	単位数	受講者数 (人)	スタートアップ オンライン講座 (いずれか1日)
A・B	領域及び保育内容の指導法 に関する科目	遊びと文化Ⅰ・Ⅱ	2	34	第1期 7/16 又は 7/17
C		保育内容(表現)	2	34	
D	教育の基礎的理解に関する 科目	教師論	2	34	第2期 9/10 又は 9/11
E	道徳、総合的な学習の時間 等の指導法及び生徒指導、 教育相談等に関する科目	教育の方法・技術	2	34	
F・G		幼児理解・教育相談Ⅰ	2	34	

令和4年度 幼児教育における人材・キャリアアップ支援事業

実施概要

実施概要

- ① 自律的なオンライン講座のデザインと教えないで学べる学修環境の設計
- ④ 「幼児教育コーディネータ養成講座」の実施
(幼稚園教諭2種免許状から1種免許状に上進する認定講座の開設)

<開設科目>

	第1期	第2期
申込期間（必着）	5月23日～6月10日	7月11日～7月29日
受講料振込期間	受講確認票到着後 6月24日	受講確認票到着後 ～8月10日
受講許可書・教材・ 履修証明プログラム 申請用紙発送	振込確認後 ～7月8日	振込確認後 ～9月2日
スタートアップ オンライン講座	7月16日 又は 7月17日	9月10日 又は 9月11日
講習受講期間	7月17日～10月17日	9月11日～12月11日
修了認定試験	10月17日～10月30日	12月11日～12月24日
履修証明プログラム 申請用紙提出〆切	10月30日迄に事務局へ必着 (印刷物を郵送にて提出)	12月24日迄に事務局へ必着 (印刷物を郵送にて提出)
修了認定	採点終了後 判定会議	採点終了後 判定会議
履修証明書発送	12月中旬頃発送予定	2月初旬頃発送予定

令和4年度 幼児教育における人材・キャリアアップ支援事業 実施概要

実施概要

- ① 自律的なオンライン講座のデザインと教えないで学べる学修環境の設計
- ③ 幼児教育の新たなキャリアである幼児教育コーディネータの養成カリキュラム構造化と内容の精選

対面とe-Learningを活用した学びとを組み合わせた 「ハイブリット型講座」の実施

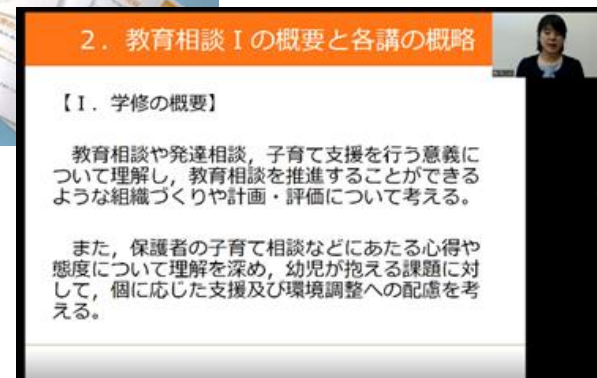
対面での授業の実施 + e-Learning（テキストと動画教材）の実施



対面授業（zoomによる実施）



e-Learning
（テキストと
動画教材開発）



実際の様子へ

令和4年度 幼児教育における人材・キャリアアップ支援事業 実施概要

実施概要

- ① 自律的なオンライン講座のデザインと教えないで学べる学修環境の設計
- ④ 「幼児教育コーディネータ養成講座」の実施
(幼稚園教諭2種免許状から1種免許状に上進する認定講座の開設)

<講座の流れ>

※募集要項記載

- (1) 受講申込
- (2) スタートアップオンライン講座受講 (1日, zoomにて)
- (3) 学習開始 (講習受講期間にて学習実施)
- (4) 修了認定試験受講
- (5) 履修証明プログラム申請
- (6) 履修証明書発送

令和4年度 幼児教育における人材 ・キャリアアップ支援事業

履修証明プログラム制度

(1) 目的

「地域・学校における幼児教育の研修及び専門的指導」のための研修講座の計画立案実践能力，組織化，および地域課題解決への具体的対応力を身につけることにより，地域，学校における保幼小連携などの幼児教育をコーディネートできる人材の育成や，その能力の向上を図ること

※ここでの「学校」とは、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。

(2) コース名

幼児教育コーディネータ養成コース

履修証明プログラム制度

(3) 趣旨・内容

本課程は、「地域・学校における幼児教育の研修及び専門的指導」のための研修講座の立案実践能力，組織化，及び地域課題解決への具体的対応力を身に付けることにより，地域・学校における幼児教育をコーディネートできる人材の育成や，その能力の向上を図ることを目的とする。

※ここでの「学校」とは、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。

(4) 対象者

次の①～③に該当する方

- ① 幼稚園教諭2種免許状所持者で，基礎資格となる免許状を取得した後，幼稚園（特別支援学校の幼稚部及び幼保連携型認定こども園を含む）における教員として在職年数が，12年以上の方。（（1）に該当する方につきましては，2種免許状を1種免許状に上進可能）
- ② 幼稚園教諭1種免許状所持者でスキルアップを目指す方。
- ③ 幼稚園教諭としてお勤めで，管理職・マネジメントの職務についている方。

履修証明プログラム制度

（５）総時間数

7科目 77時間（履修証明プログラムは60時間以上必要）

（６）コース修了条件

各科目における試験またはレポートによる最終試験を全て合格

（７）出願書類

- ① 履修証明プログラム履修証明申請用紙
- ② 写真 2枚

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力

- ②キャリアステージに対応した幼稚園教諭に求められる資質能力の構造化
- ③幼児教育の新たなキャリアである幼児教育コーディネータの養成カリキュラム構造化と内容の精選

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力

「岐阜県『教員のキャリアステージ』における資質の向上に関する指標」

■ 教員のキャリアステージ

「基礎形成期」「資質向上期」「資質充実期」「資質貢献期」

■ 「岐阜県『教員のキャリアステージ』における資質の向上に関する指標」

A) 保育・・・保育構想，保育実践，評価改善

B) 教育環境の創造・・・幼児理解，生活の展開，発達の課題

C) 経営・分掌・・・学級・学年・園経営，連携・協働，危機管理

D) 特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応

E) ICTや情報・教育データの利活用

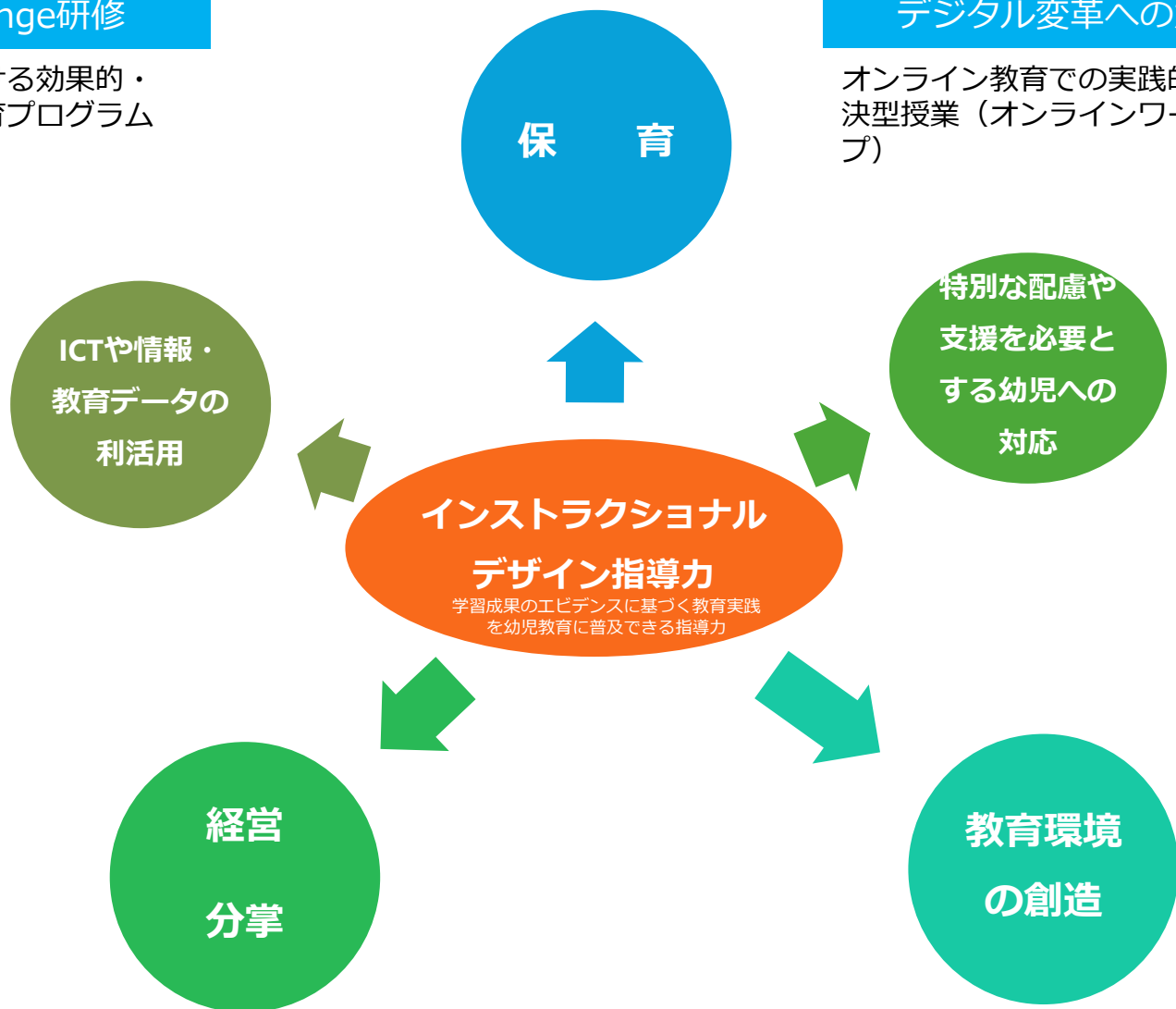
キャリアステージに対応した幼稚園教諭に求められる資質能力の構造化

■ デジタル変革に対応したskill upからSkill change研修

オンライン教育における効果的・
効率的・魅力的な教育プログラム

■ 自律的なオンライン研修と デジタル変革への意識改革

オンライン教育での実践的な課題解
決型授業（オンラインワークショップ）



幼児教育コーディネータの資質・能力の構造化

参考：岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標 改訂版【幼稚園等】における【資質充実期】並びに【資質貢献期】（令和3年10月）

資質・能力カテゴリー		幼児教育コーディネータに必要な資質・能力
保 育	保育構想	(1)自園の課題、幼稚園教育要領の趣旨を踏まえた指導計画を作成し、他の教員に広めていくことができる。 (2)幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ自園の課題の解決に努め、日常的な保育の改善に向けて研究体制を整えることができる。 (3)各領域等を総合的・一体的に扱う保育のモデルを示すなど、保育実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員に広めていくことができる。 (4)自園の課題を踏まえ人格形成の基礎を培う実践について、他の教員に伝えたり、適切に助言を行ったりすることができる。 (5)自園の保育力向上に向けた取組の課題を明らかにし、指導計画等の改善を行うことができる。 (6)他の教員に対して、保育実践の評価を生かした指導改善について、適切に助言を行うことができる。
	保育実践	
	評価改善	
教育環境の創造	幼児理解	(1)様々な情報に基づいて幼児一人一人を多面的・多角的に捉え、個性を生かす指導を行うことができる。 (2)継続的に幼児の言動を見届け、価値付ける指導を行ったり、幼児の捉え方について助言を行ったりすることができる。 (3)関係職員や保護者等と協力して、幼児の状況を共有し、組織を生かして指導方法を判断し迅速に対応することができる。 (4)幼児に対する指導を組織的・計画的に実践できるように、体制を整えるとともに問題の未然防止の取組を実践することができる。 (5)幼児の多様な発達の課題を明確にし、それに対応する方策を提案し、園の実践の基点となって実践することができる。 (6)幼児の多様な発達の課題に対する方策を明確にもち、モデルとなる実践を行うとともに、指導内容の改善に向けて助言を行うことができる。
	生活の展開	
	発達の課題	
経 営 分 掌	学級・学年・園経営	(1)自園の分掌全般に関して理解を深め、組織を生かしながら各分掌を推進することができる。 (2)自園の教育目標具現に向けて、園の組織間の連絡・調整を行うとともに若手教員の育成をすることができる。 (3)他の教員等の取組状況を把握し、連絡・調整をしながら対応することができる。 (4)広い視野をもち、関係機関や保護者・地域等と連携し、組織を生かした対応をすることができる。 (5)関係機関や保護者・地域等と連携し、事故等の未然防止や発生時における迅速な対応を行うことができる。 (6)自園を取り巻く環境について、家庭・地域・関係機関との協力体制を整えるとともに、適切に対応することができる。
	連携・協働	
	危機管理	
特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応		(1)全校的な支援の充実に向け、職員の連携による指導の体制を整え、組織的・持続的な支援のために主体的に働きかけることができる。 (2)幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。
ICTや情報・教育データの利活用		(1)自からのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。 (2)自園のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。
インストラクショナルデザイン指導力	インストラクショナルデザイン	(1)自分の学びをデザインすることの必要性について説明できる。 (2)インストラクショナルデザインの第1原理の観点から、現実に役立つ自分の学びを設計できる。 (3)e-Learningにより学修がどのように支援されているかについて、研修以外の学習支援方法を含んで、事例を挙げながら説明できる。 (4)研修成果の評価をどのように行うか。研修が目指した学習目標に即して計画を具現化でき、研修の評価・改善を計画することができる。 (5)研修の学習目標に沿ったワークショップのデザインをすることができる。
	研修成果の評価	
	ワークショップ	
	教育リソース	(6)全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと共同的な学びの実現のための教育資料のデジタルアーカイブの活用について事例を挙げて説明できる。

令和4年度 幼児教育における人材・キャリアアップ支援事業

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力

科目名	幼児教育コーディネータに必要な資質・能力
遊びと文化Ⅰ	(1) 幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ自園の課題の解決に努め、日常的な保育の改善に向けて研究体制を整えることができる。 (2) 各領域等を総合的・一体的に扱う保育のモデルを示すなど、保育実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員に広めていくことができる。 (3) 様々な情報に基づいて幼児一人一人を多面的・多角的に捉え、個性を生かす指導を行うことができる。 (4) 幼児の多様な発達の課題を明確にし、それに対応する方策を提案し、園の実践の基点となって実践することができる。
遊びと文化Ⅱ	(1) 幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ自園の課題の解決に努め、日常的な保育の改善に向けて研究体制を整えることができる。 (2) 各領域等を総合的・一体的に扱う保育のモデルを示すなど、保育実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員に広めていくことができる。 (3) 様々な情報に基づいて幼児一人一人を多面的・多角的に捉え、個性を生かす指導を行うことができる。 (4) 幼児の多様な発達の課題を明確にし、それに対応する方策を提案し、園の実践の基点となって実践することができる。 (5) 幼児の多様な発達の課題に対する方策を明確にもち、モデルとなる実践を行うとともに、指導内容の改善に向けて助言を行うことができる。
保育内容 (表現)	(1) 幼稚園教育要領領域「表現」を幼児の発達段階に即して理解することができる。 (2) 幼児の個性に即して適切な支援をすることができる。 (3) 幼児期の終わりまでに育てたい10の姿を見通した造形教育を計画することができる。 (4) 創造的に学ぶ（クリエイティブ・ラーニング）教育について事例を挙げて説明できる。 (5) 全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと共同的な学びの実現のための教育リソースの活用について事例を挙げて説明できる。 (2) 個々の幼児のみならず、園全体のことを考えたうえで課題意識を表象化して、研修課題をテーマを絞り込むことができる。
教師論	(1) 教育の先駆者の教育思想や教育方法を踏まえた教師像をもつことができる。 (2) 現代の教育方法について理解し、目指す教育方法を共有化できる。 (3) 教育目標の実現に向けた教育の枠組みの考え方を身に付けることができる。 (4) 児童中心主義の考え方の原点を学ぶことができる。 (5) 倉橋惣三の保育論を通して、幼児教育の「不易」について理解することができる。 (6) 21世紀型保育の在り方の重要な視点について理解することができる。 (7) 野村芳兵衛の保育論を通して、発達段階に即した保育の在り方について理解することができる。 (8) 幼稚園教育要領等のねらいを達成し内容を適切に指導する際の重要な点について理解することができる。 (9) 広い視野をもち、関係機関や保護者・地域等と連携し、組織を生かした対応をすることができる。 (10) 自園を取り巻く環境について、家庭・地域・関係機関との協力体制を整えるとともに、適切に対応することができる。

令和4年度 幼児教育における人材・キャリアアップ支援事業

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力

科目名	幼児教育コーディネータに必要な資質・能力
教育の方法・技術	(1) 自分の学びをデザインすることの必要性について説明できる。 (2) インストラクショナルデザインの第1原理の観点から、現実に関立つ自分の学びを設計できる。 (3) e-Learningにより学修がどのように支援されているかについて、研修以外の学習支援方法を含んで、事例を挙げながら説明できる。 (4) 研修成果の評価をどのように行うか。研修が目標した学習目標に即して計画を具現化でき、研修の評価・改善を計画することができる。 (5) 研修の学習目標に沿ったワークショップのデザインをすることができる。 (6) 全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現のための教育資料のデジタルアーカイブの活用について事例を挙げて説明できる。 (7) 自からのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。 (8) 自園のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。
幼児理解	(1) 様々な情報に基づいて幼児一人一人を多面的・多角的に捉え、個性を生かす指導を行うことができる。 (2) 継続的に幼児の言動を見届け、価値付ける指導を行ったり、幼児の捉え方について助言を行ったりすることができる。 (3) 関係職員や保護者等と協力して、幼児の状況を共有し、組織を生かして指導方法を判断し迅速に対応することができる。 (4) 幼児に対する指導を組織的・計画的に実践できるように、体制を整えるとともに問題の未然防止の取組を実践することができる。 (5) 幼児の多様な発達の課題を明確にし、それに対応する方策を提案し、園の実践の基点となって実践することができる。 (6) 幼児の多様な発達の課題に対する方策を明確にもち、モデルとなる実践を行うとともに、指導内容の改善に向けて助言を行うことができる。 (7) 研修の学習目標に沿ったワークショップのデザインをすることができる。 (8) 幼児の理解を、エビデンスベースで理解することができる。 (9) 主観的解釈から脱却し、他者の解釈を聞くことができる。
教育相談Ⅰ	(1) 様々な情報に基づいて幼児一人一人を多面的・多角的に捉え、個性を生かす指導を行うことができる。 (2) 継続的に幼児の言動を見届け、価値付ける指導を行ったり、幼児の捉え方について助言を行ったりすることができる。 (3) 関係職員や保護者等と協力して、幼児の状況を共有し、組織を生かして指導方法を判断し迅速に対応することができる。 (4) 幼児に対する指導を組織的・計画的に実践できるように、体制を整えるとともに問題の未然防止の取組を実践することができる。 (5) 幼児の多様な発達の課題を明確にし、それに対応する方策を提案し、園の基点となって実践することができる。

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力に関する調査

「幼児教育の新たなキャリアである幼児教育コーディネータの養成カリキュラムの開発・試行」での基礎資料とすることを目的としてアンケートを企画・実施。受講生の受講前の資質・能力の実態を把握した。受講後に再度同じ設問にて調査を実施し、変容を捉える。

○実施時期：令和4年7・9月 ○実施対象：受講生34名（回答33名）

○実施方法：Web方式

■ 幼児教育コーディネータに必要な資質・能力

- A) 保育・・・保育構想，保育実践，評価改善
- B) 教育環境の創造・・・幼児理解，生活の展開，発達の課題
- C) 経営・分掌・・・学級・学年・園経営，連携・協働，危機管理
- D) 特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応
- E) ICTや情報・教育データの利活用

令和4年度 幼児教育における人材・キャリアアップ支援事業

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力に関する調査

A. 保 育（保育構想・保育実践・評価改善）

A 1	自園の課題、幼稚園教育要領の趣旨を踏まえた指導計画を作成し、他の教員に広めていくことができる。
A 2	幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ自園の課題の解決に努め、日常的な保育の改善に向けて研究体制を整えることができる。
A 3	各領域等を総合的・一体的に扱う保育のモデルを示すなど、保育実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員に広めていくことができる。
A 4	自園の課題を踏まえ人格形成の基礎を培う実践について、他の教員に伝えたり、適切に助言を行ったりすることができる。
A 5	自園の保育力向上に向けた取組の課題を明らかにし、指導計画等の改善を行うことができる。
A 6	他の教員に対して、保育実践の評価を生かした指導改善について、適切に助言を行うことができる。

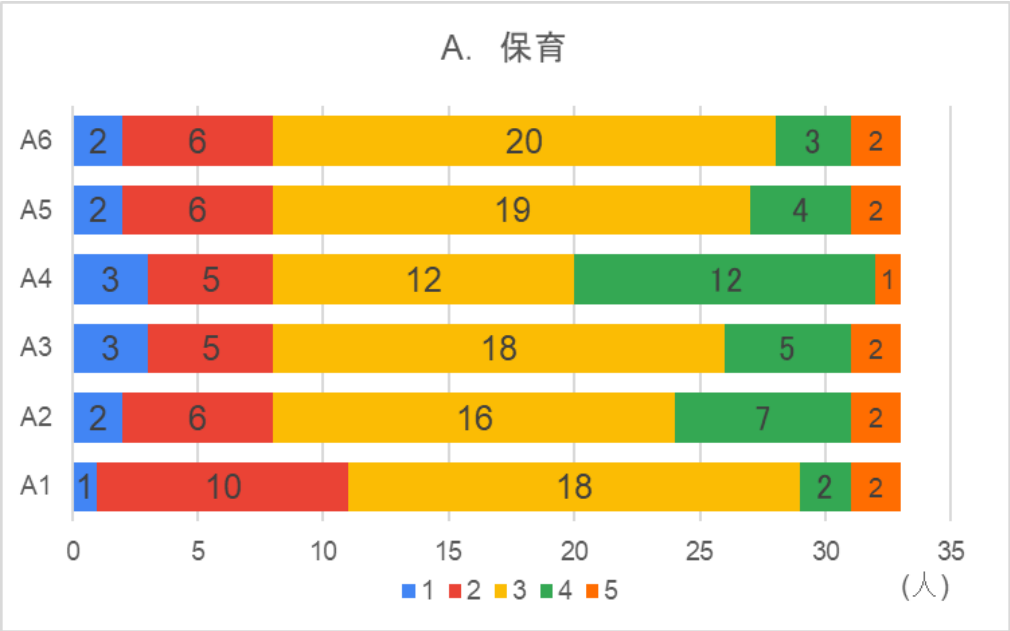


図1. 保育に関する資質・能力

令和4年度 幼児教育における人材・キャリアアップ支援事業

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力に関する調査

B. 教育環境の創造（幼児理解・生活の展開・発達の課題）

B 1	様々な情報に基づいて幼児一人一人を多面的・多角的に捉え、個性を生かす指導を行うことができる。
B 2	継続的に幼児の言動を見届け、価値付ける指導を行ったり、幼児の捉え方について助言を行ったりすることができる。
B 3	関係職員や保護者等と協力して、幼児の状況を共有し、組織を生かして指導方法を判断し迅速に対応することができる。
B 4	幼児に対する指導を組織的・計画的に実践できるように、体制を整えるとともに問題の未然防止の取組を実践することができる。
B 5	幼児の多様な発達の課題を明確にし、それに対応する方策を提案し、園の実践の基点となって実践することができる。
B 6	幼児の多様な発達の課題に対する方策を明確にもち、モデルとなる実践を行うとともに、指導内容の改善に向けて助言を行うことができる。

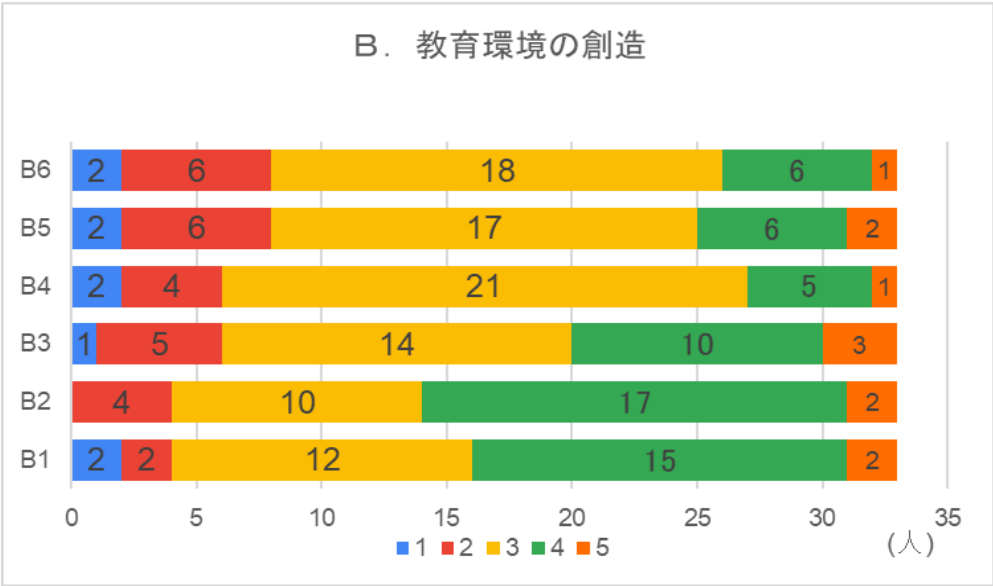


図2. 教育環境の創造に関する資質・能力

令和4年度 幼児教育における人材・キャリアアップ支援事業

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力に関する調査

C. 経営分掌（学級・学年・園経営・連携・協働・危機管理）

C1	自園の分掌全般に関して理解を深め、組織を生かしながら各分掌を推進することができる。
C2	自園の教育目標具現に向けて、園の組織間の連絡・調整を行うとともに若手教員の育成をすることができる。
C3	他の教員等の取組状況を把握し、連絡・調整をしながら対応することができる。
C4	広い視野をもち、関係機関や保護者・地域等と連携し、組織を生かした対応をすることができる。
C5	関係機関や保護者・地域等と連携し、事故等の未然防止や発生時における迅速な対応を行うことができる。
C6	自園を取り巻く環境について、家庭・地域・関係機関との協力体制を整えとともに、適切に対応することができる。

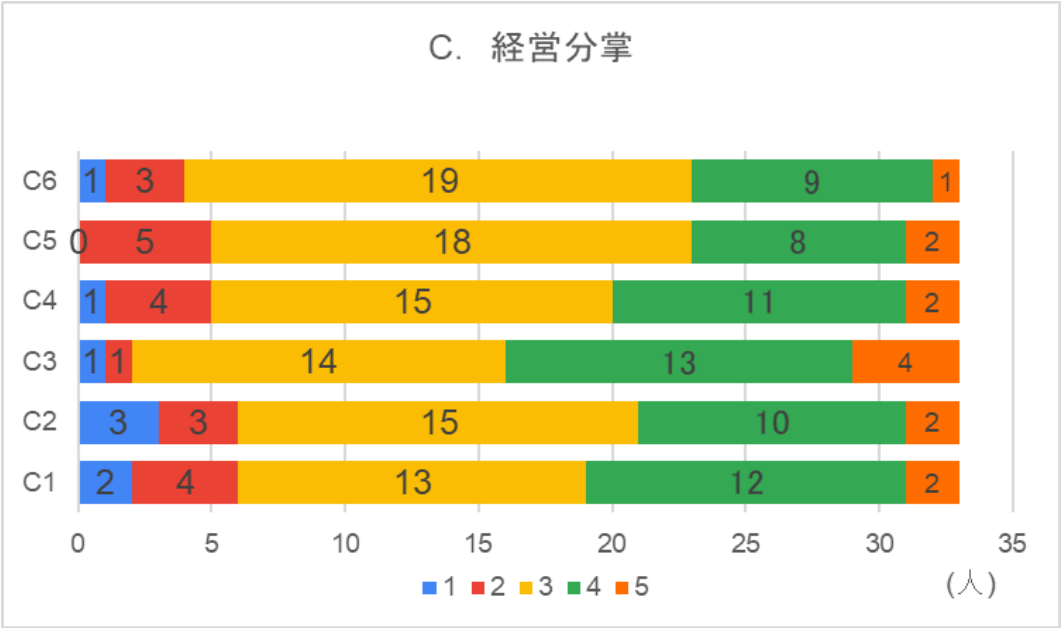


図3. 経営分掌に関する資質・能力

令和4年度 幼児教育における人材・キャリアアップ支援事業

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力に関する調査

D. 別な配慮や支援を必要とする幼児への対応

- D1 全校的な支援の充実に向け、職員の連携による指導の体制を整え、組織的・持続的な支援のために主体的に働きかけることができる。
- D2 幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。

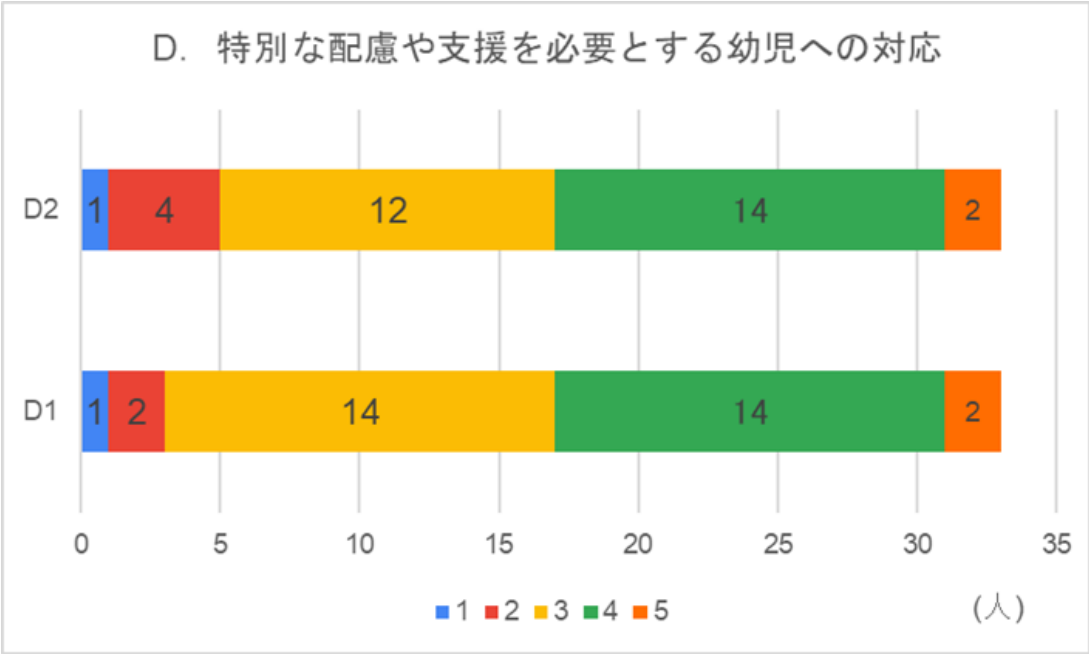


図4. 教育環境の創造に関する資質・能力

令和4年度 幼児教育における人材・キャリアアップ支援事業

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力に関する調査

D. 別な配慮や支援を必要とする幼児への対応

- D1 全校的な支援の充実に向け、職員の連携による指導の体制を整え、組織的・持続的な支援のために主体的に働きかけることができる。
- D2 幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。

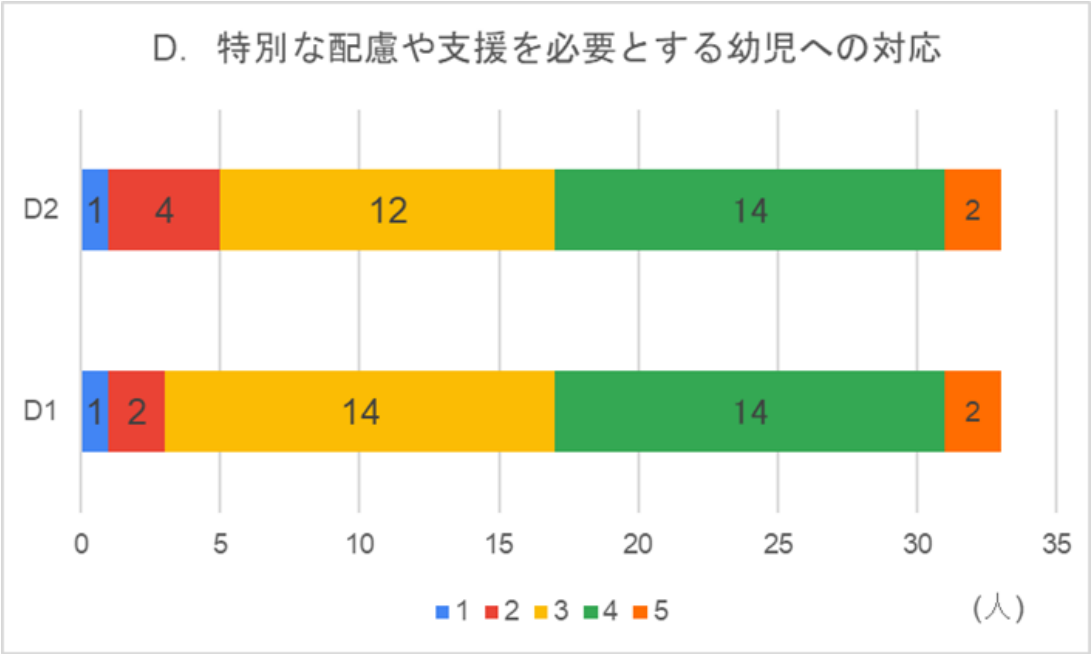


図4. 特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力に関する調査

E. ICTや情報・教育データの利活用

- E 1 自からのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。
- E 2 自園のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。

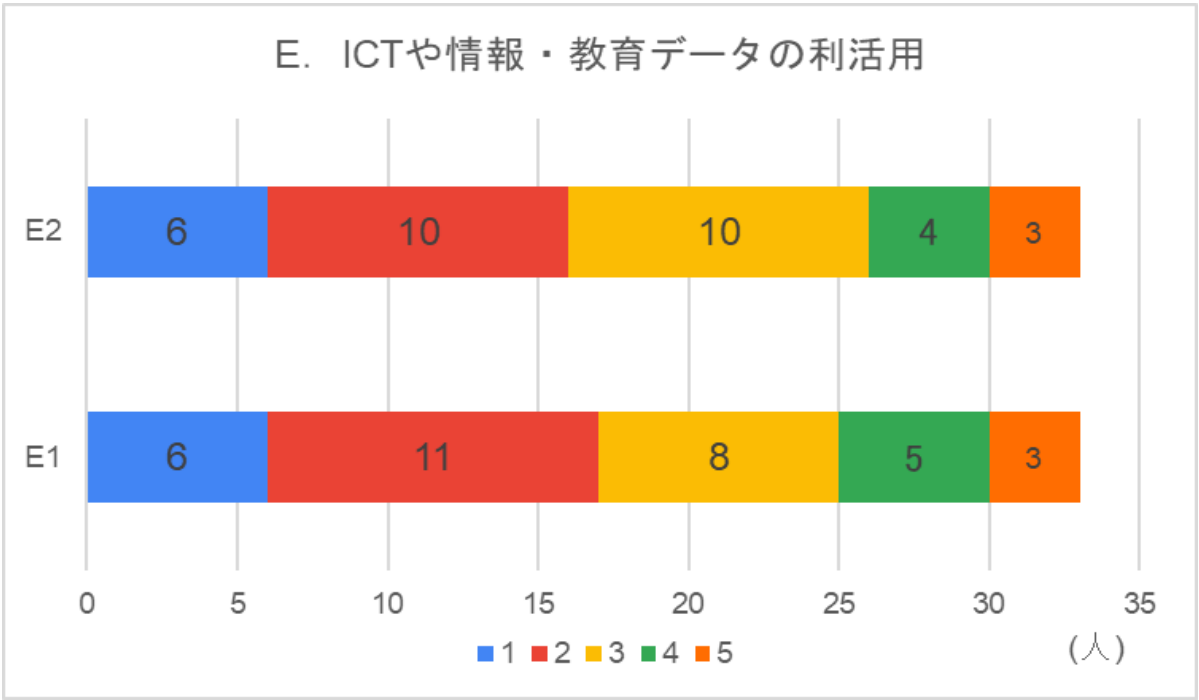


図5. ICT・情報・教育データに関する資質・能力

令和4年度 幼児教育における人材・キャリアアップ支援事業

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力

幼児教育コーディネータに必要な資質・能力に関する調査

F. インストラクショナルデザイン指導力

(インストラクショナルデザイン・研修成果の評価・ワークショップ・教育リソース)

F1	自分の学びをデザインすることの必要性について説明できる。
F2	インストラクショナルデザインの第1原理の観点から、現実に関立つ自分の学びを設計できる。
F3	e-Learningにより学修がどのように支援されているかについて、研修以外の学習支援方法を含んで、事例を挙げながら説明できる。
F4	研修成果の評価をどのように行うか。研修が目指した学習目標に即して計画を具現化でき、研修の評価・改善を計画することができる。
F5	研修の学習目標に沿ったワークショップのデザインをすることができる。
F6	全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと共同的な学びの実現のための教育資料のデジタルアーカイブの活用について事例を挙げて説明できる。

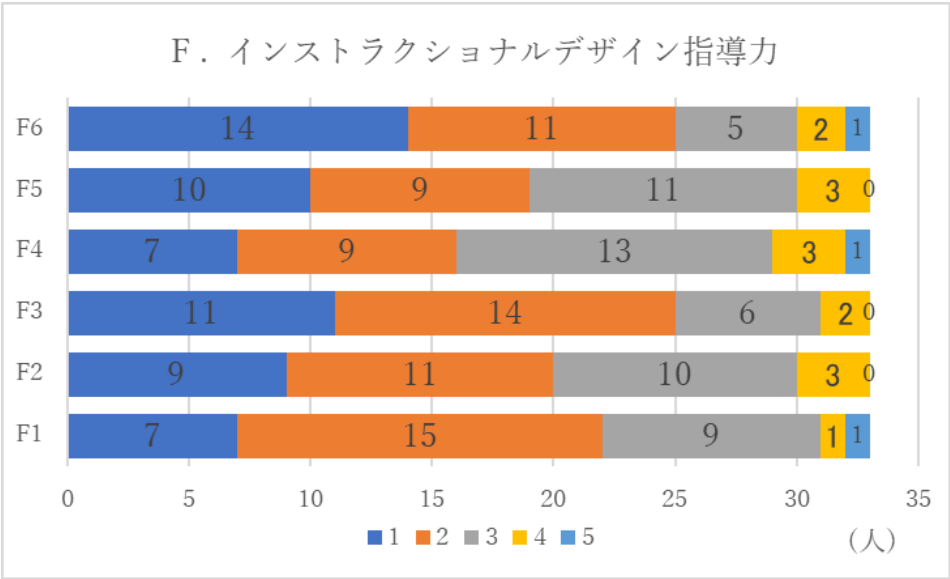


図6. インストラクショナルデザイン指導力に関する資質・能力

今後の運営

- 幼児教育コーディネータに必要な資質・能力が本養成講座により育成されたかの検討
= 幼児教育コーディネータに必要な資質・能力の事後調査の実施
- オンライン講座の学習目標の再定義と構造化を図り，資質・能力とのカリキュラムマップを作成する。
- 同時に講座のタキソノミーテーブルを作成する。

令和4年度 幼児教育にける人材確保・ キャリアアップ支援事業

(幼稚園教諭免許法認定講習等の在り方に関する調査研究)

第1回 評価検討委員会

岐阜女子大学